

2022年3月期（第204期）決算について

2022年4月26日

大阪ガス株式会社

1. 経営成績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 決算の概要

当期の売上高は、国内エネルギー事業でのLNG価格の上昇や原料費調整制度に基づきガス販売単価が高めに推移したことによる増収、海外エネルギー事業での米国上流事業やフリーポートLNGプロジェクトでの増収などにより、前期に比べて増収となりました。経常利益は、海外エネルギー事業は増益であったものの、国内エネルギー事業での原料価格の変動がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグによる減益影響などにより、減益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、米国の連結子会社において、法人税等調整額（益）を計上したため、増益となりました。

連結子会社数は、前期末から8社減、4社増の150社となりました。また、持分法適用関連会社数は、前期末から1社減、4社増の30社となりました。

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結	15,868（+16.3%） [13,641]	949（△15.6%） [1,124]	1,104（△13.5%） [1,277]	1,282（+58.6%） [808]

[]内は前期実績、()内は対前期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、ガス事業でのタイムラグ影響による利益減などにより、減益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、フリーポートLNGプロジェクトや米国上流事業の利益貢献などにより、増益となりました。「ライフ&ビジネスソリューション」のセグメント利益は、情報ソリューション事業で前年度の新型コロナウイルス感染症拡大の影響が緩和したことなどにより、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント損益（注）
国内エネルギー	13,361（+15.3%） [11,583]	386（△54.8%） [855]
海外エネルギー	807（+82.4%） [442]	443（+162.5%） [168]
ライフ&ビジネスソリューション	2,370（+9.5%） [2,165]	235（+21.9%） [192]

（注）セグメント損益：営業損益+持分法投資損益 []内は前期実績、()内は対前期増減率

(3) 国内ガス販売実績

ガス販売実績[45MJ/m³]は前期を下回りました。家庭用のガス販売量は、競合の影響などにより、前期を下回りました。業務用等のガス販売量は、特定のお客さま先での設備稼働減などにより、前期を下回りました。

個別	ガス供給件数(千件)	4,915(△2.3%)
	家庭用	1,814(△2.6%)
	業務用等	5,248(△0.2%)
	ガス販売量(百万m ³)	7,062(△0.8%)
連結	ガス販売量(百万m ³)	7,096(△0.9%)

()内は対前期増減率

(4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、小売と卸等がともに増加し、前期を上回りました。

低圧電気供給件数(千件)	1,613(+6.8%)
小売	6,189(+8.2%)
卸等	10,571(+1.5%)
電力販売量(百万kWh)	16,760(+3.9%)

()内は対前期増減率

2. 次期(2023年3月期)の見通し

2022年3月10日に公表した業績予想から修正はありません。

[単位: 億円]

	連結
売上高	18,530(+16.8%)
営業利益	1,065(+12.2%)
経常利益	1,150(+4.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益	820(△36.1%)

()内は対当期増減率

(参考)原油価格・為替レート的前提(2022年4月1日~2023年3月31日)

原油価格(全日本C I F価格): 95ドル/バレル・為替レート(TTM): 115円/ドル

3. 配当の状況

[単位: 円]

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年3月期	—	25.00	—	27.50	52.50
2022年3月期	—	27.50	—	30.00	57.50
2023年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

以上